糸島市立　怡土小学校

令和７年度　全国学力・学習状況調査について

（本調査は、全国悉皆調査で第６学年児童生徒を対象に４月に実施されたもの）

１　学力調査に関する結果の概要

【国　語】

○　情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方の理解している。
○　話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができている。
●　目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどしながら論理的に読むことに課題がある。

【算　数】

○　目的に応じて適切なグラフを選択して項目間の関係を読み取ることができている。
○　伴って変わる二つの数量関係に着目し必要な数量を見出す力が身に付いている。
●　異分母同士の分数の計算をする問題に課題がある。
●　多角形における図形の性質についての理解や作図の技能に課題がある。

【理　科】

○　花のつくりや受粉についての知識が身に付いている。
●　温度によって水の状態が変化する知識と関連付けて説明する問題に課題がある。

２　児童質問紙に関する結果の概要

○　将来に夢や目標をもって活動している児童が多い。
○　困ったことがあった時に学校や地域の大人に相談しようとする意識が見られる。
●　読書習慣の定着に課題がある。
●　学習したことを日頃の生活の中で活用しようとする意識に課題がある。

３　評価と今後の取組

（1）教科に関する取組

①　効果があった取組

・セルフ授業を通した自己管理学習力及び学びに向かう非認知能力の育成
・全校での自己調整学習力を高める学びの振り返り（ルーブリック）の実施
・算数科における少人数補充学習の実施（給食前学習）

②　今後の学力向上に向けた取組

・国語科における論理的根拠をもって読むことを充実した授業づくりの実施
・算数科におけるペア・グループ交流を充実させた協働的な学びの実施
・学力分析研修における日々の授業の見直し

（2）児童質問紙の内容に関する取組

①　効果があった取組

・学年を超えた選択型自由研究（怡土っ子タイム）の実施
・学びのスタートラインを揃えるための全校における学び方（怡土スタイル）の実施

②　今後の学力向上に向けた取組

・学習したことが生活のどのような場面で活用できるのかを考える場の設定
・ICT（学習者用デジタル教科書）を活用し家庭学習と授業を連動させた反転学習の実施
・学力向上に向けた研修会の充実